

11月度座談会

寂日房御書

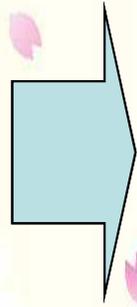
* * 地区

背景と大意

- 弘安2年 在・身延 58歳
- 与・寂日房日家(⇒女性門下へ)
- 熱原の法難の渦中
- 「法華経の行者」として生きよ
- 師弟の宿縁を自覚し 広布道を

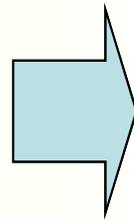
宿縁ふかし

かかる者



このような日蓮
法華經の行者

師弟の契り

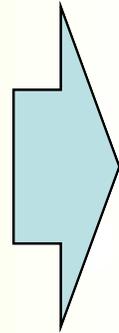


過去現在未来
三世の宿縁

三世永遠の師弟不二
地涌の使命 広布への闘争

日蓮と同じく

三世の師弟
地涌の誓願



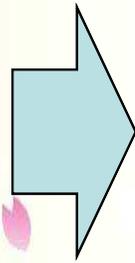
大聖人と同じ
慈悲と勇気

迫害にも一歩も退くな

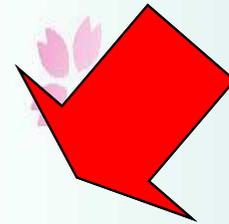
師弟の道に永遠の勝利と幸福

はや不祥なり

苦難や苦勞
世間的な不運



闘争の中に
成長と宿命転換



難を乗り越える信心
絶対勝利の信心
幸福をつかむ信心

指導から

- 広宣流布こそ大聖人の大願
- 広布後継の弟子が信心の継承者
- 師弟の契りは三世の宿縁
- 難に勝つ鬭争に成長と歓喜

弟子の勝利こそ師弟の勝利
万代に輝く創価の時代を開け